33 01 04 01 01 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月26日（火）

事務事業	救急医療体制整備事務	担当課	保健センター	担当係	地域医療係	管理番号	3342
第2次総合計画 行政分野別		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
計画施策名 大項目	200001 健康でいきいきと暮らせるまち（子育て・保健・福祉）	根拠法令個別計画等	深谷市病院群輪番制病院運営事業補助金交付要綱 深谷市公的病院等運営費補助金交付要綱				
中項目	200002 健やかで元気に暮らせるまちづくり						
小項目	200002 地域医療体制の充実						

事業概要	本事業は、深谷市の救急医療体制を充実させるため、初期救急医療体制として休日診療所・こども夜間診療所、当番医による在宅診療を開設し、第二次救急医療体制として祝休日、夜間に入院が必要な重篤の救急患者が医療を受けられる体制を確保し、また、第三次救急医療を担う救命救急センターの運営の安定化を図るため、関係市町とともに深谷赤十字病院に補助金を交付するものである。
目的 ※何のために	市民が必要な時にいつでも救急医療を受けることができる。
対象 ※誰・何を対象に	①初期救急医療体制では、比較的軽い救急患者、②第二次救急医療体制では、入院が必要な救急患者、③第三次救急医療拠点確保では、重篤の救急患者。
手段 ※どのように	初期救急医療体制では、深谷寄居医師会に、第二次救急医療体制では病院群輪番制参加病院に運営費補助金を交付する。また、第三次救急医療（救命救急センター）を担う深谷赤十字病院に補助金を交付する。
成果 ※何を求めるか	市民のための救急医療体制の確保
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　■ その他（関係医療機関等）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	04 衛生費	01 保健衛生費	01 保健衛生総務費	在宅当番医制運営事業	2,467,440
一般会計	04 衛生費	01 保健衛生費	01 保健衛生総務費	病院群輪番制病院運営費補助金	38,340,453
一般会計	04 衛生費	01 保健衛生費	01 保健衛生総務費	休日急患センター運営費補助金	8,000,000
一般会計	04 衛生費	01 保健衛生費	01 保健衛生総務費	深谷赤十字病院運営費補助事業	28,955,000
一般会計	04 衛生費	01 保健衛生費	81 総合健診センター管理費	休日急患センター運営費補助金	0

本事業の主な業務

・ 在宅当番医委託、県報告	・
・ 病院群輪番制病院運営費補助金交付事務	・
・ 小児救急医療支援事業（県補助対象）	・
・ 休日急患センター運営費補助金交付事務	・
・ 休日急患診療所後方支援事業事務	・
・ 深谷赤十字病院運営費補助金交付事務	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			・小児救急医療支援、医師派遣 ・深谷赤十字病院補助金交付事務 ・休日診療所補助金交付事務	・小児救急医療支援、医師派遣 ・深谷赤十字病院補助金交付事務 ・休日診療所補助金交付事務	・小児救急医療支援、医師派遣 ・深谷赤十字病院補助金交付事務 ・休日診療所補助金交付事務	・小児救急医療支援、医師派遣 ・深谷赤十字病院補助金交付事務 ・休日診療所補助金交付事務	・小児救急医療支援、医師派遣 ・深谷赤十字病院補助金交付事務 ・休日診療所補助金交付事務	
事業費	予算（現額）		95,742,000	78,650,000	78,981,000	105,612,000	105,632,000	
	決算額		94,741,472	77,522,707	77,762,893	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	15,733,000	15,746,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	12,683,736	12,706,464	12,791,631	24,329,000	24,334,000	
		一般財源	82,057,736	64,816,243	64,971,262	65,550,000	65,552,000	
人件費	従事職員数（人）		0.81	0.76	0.71	0.86	0.86	
	人件費相当試算 ※1		6,300,990	5,914,320	5,754,550	7,007,280	7,007,280	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			101,042,462	83,437,027	83,517,443	112,619,280	112,639,280	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
■	活動指標１	救急医療体制整備メニュー数	目標値		7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	□
			実績値		7.00	7.00	7.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		救急医療体制の整備に係る事業数							
		体制整備メニュー数									
■	成果指標１	休日急患診療所診療日数	目標値	日	69.00	69.00	69.00	69.00	69.00	69.00	□
			実績値		70.00	72.00	75.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		初期救急医療体制整備のため日、祝日、年末年始の開設を目標値として設定							
		診療日数									
■	成果指標２	こども夜間診療所診療実施率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		32.87	33.15	33.87	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		小児の初期救急医療体制の整備、拡充を目指し目標値を設定							
		診療日数／目標値（３６５日）									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 初期救急（在宅当番医制運営委託・休日急患センター運営費補助金）、二次救急（病院群輪番制病院運営費補助金・小児救急医療への支援）、三次救急（深谷赤十字病院運営費補助金）において補助金を交付し、救急医療体制の維持に努めることができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 初期救急医療の体制確保において開設している休日診療所については、目標値どおり達成することができた。なお、子ども夜間診療所においては、１２４日間（土日・祝日・年末年始）のみであるため、３３．８７％の実施率となっている。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	地域医療係　柴田直人

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	救急医療体制の整備拡充に向け、引き続き医師会、医療機関、県等関係機関と連携・調整を図る。 救急医療体制維持のため、市民に対して適正受診等の啓発活動を行う。
達成状況 及び その効果	救急電話相談・救急受診アプリの周知、医療機関の適正利用、かかりつけ医に関する周知、啓発をイベント等様々な機会を利用し実施した。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	救急医療体制整備事務	担当課	保健センター	担当係	地域医療係	管理番号	3342

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

初期救急医療（休日診療所・こども夜間診療所、当番医による在宅診療）、二次救急医療（祝休日、夜間に入院が必要な重篤な救急患者への医療）体制を確保することができた。
なお、小児初期救急医療の拡充については、実施が困難な状況であるが引き続き関係機関と調整を図っていきたい。

評価者	保健センター所長　野口加代子

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

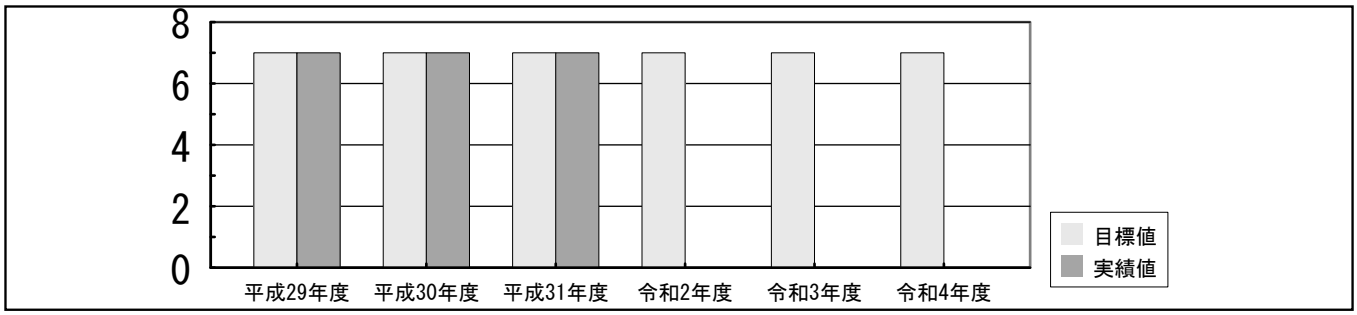
改善・改革案	小児救急医療体制の確保に向けては、引き続き医師会や医療機関と調整に努める。 また、引き続き市民に対し医療機関の適正受診等を呼びかけていく。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

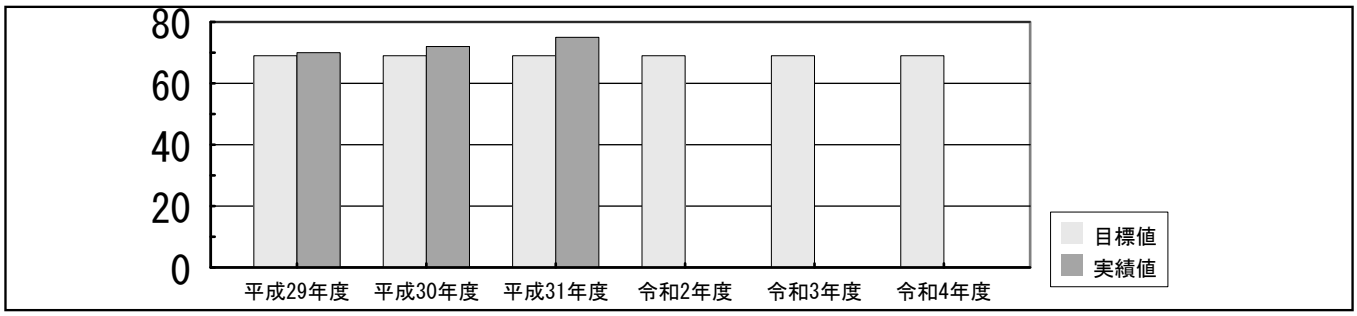
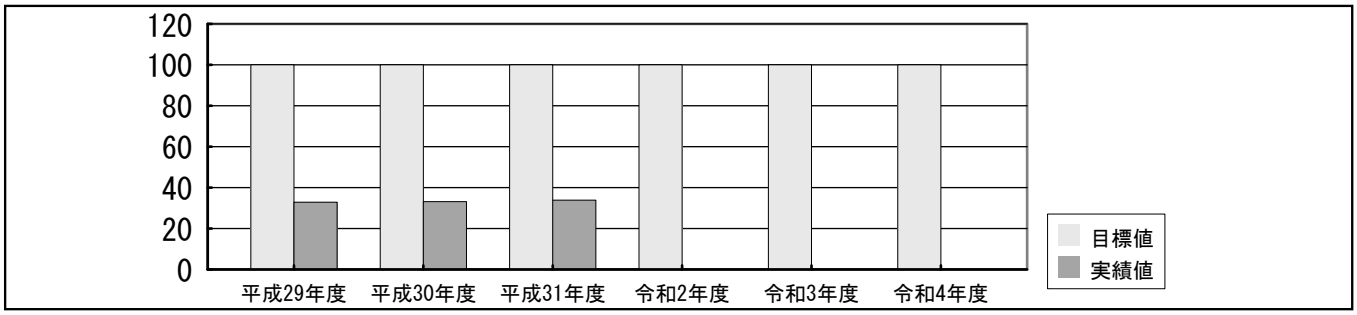
今後の課題	救急医療体制の運営・維持・整備を図るためには、多額の費用負担を伴うため、今後も市の財源確保、近隣市町との調整が大きな課題である。 また、引き続き小児救急医療支援事業において、医師不足等により実施体制がとれないことのないよう、県と連携し、適宜情報を把握しておく必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	救急医療体制整備メニュー数



区分	成果指標１	指標名	休日急患診療所診療日数



区分	成果指標２	指標名	こども夜間診療所診療実施率